

報道関係者各位

2013年4月4日

2013年3月の概況等について

2013年3月の一日平均取引高は前月より29.9%減少

2013年3月の当社市場の1日平均取引高は、主力商品である金（前月比32.0%減の47,897枚）や白金（前月比35.6%減の18,076枚）、原油（前月比42.2%減の5,567枚）等、ゴムを除く全ての商品で減少したことから、全体では前月比29.9%減の112,673枚となりました。

3月前半は、米国株の史上最高値更新を受けた景気回復への期待感等から取引が膨らみましたが、後半は、キプロス問題を端緒として欧州債務問題に対する懸念が再燃し、リスク回避ムードとなったことにより取引が手控えられる傾向となりました。こうしたことが取引高減少の主な要因と考えられます。

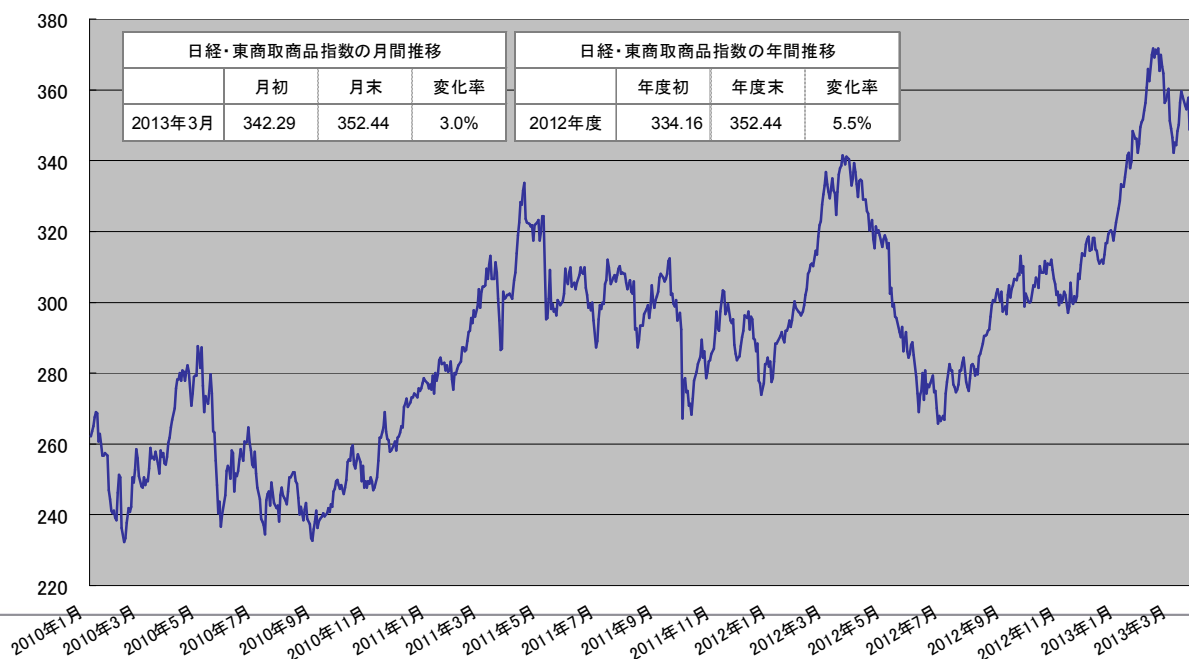
また、3月末時点の全商品合計取組高は386,730枚となり、先月末時点より9,530枚減少しました。

なお、2012年度の取引高については、全商品合計で26,502,661枚（前年度比14.2%減）、また、1日平均では、108,174枚（前年度比13.8%減）となりました。取引高減少の主な要因としては、欧州債務問題や、それに端を発した世界経済の鈍化に対する懸念等からリスクオフの傾向が続いたことが考えられます。

取引高等の詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

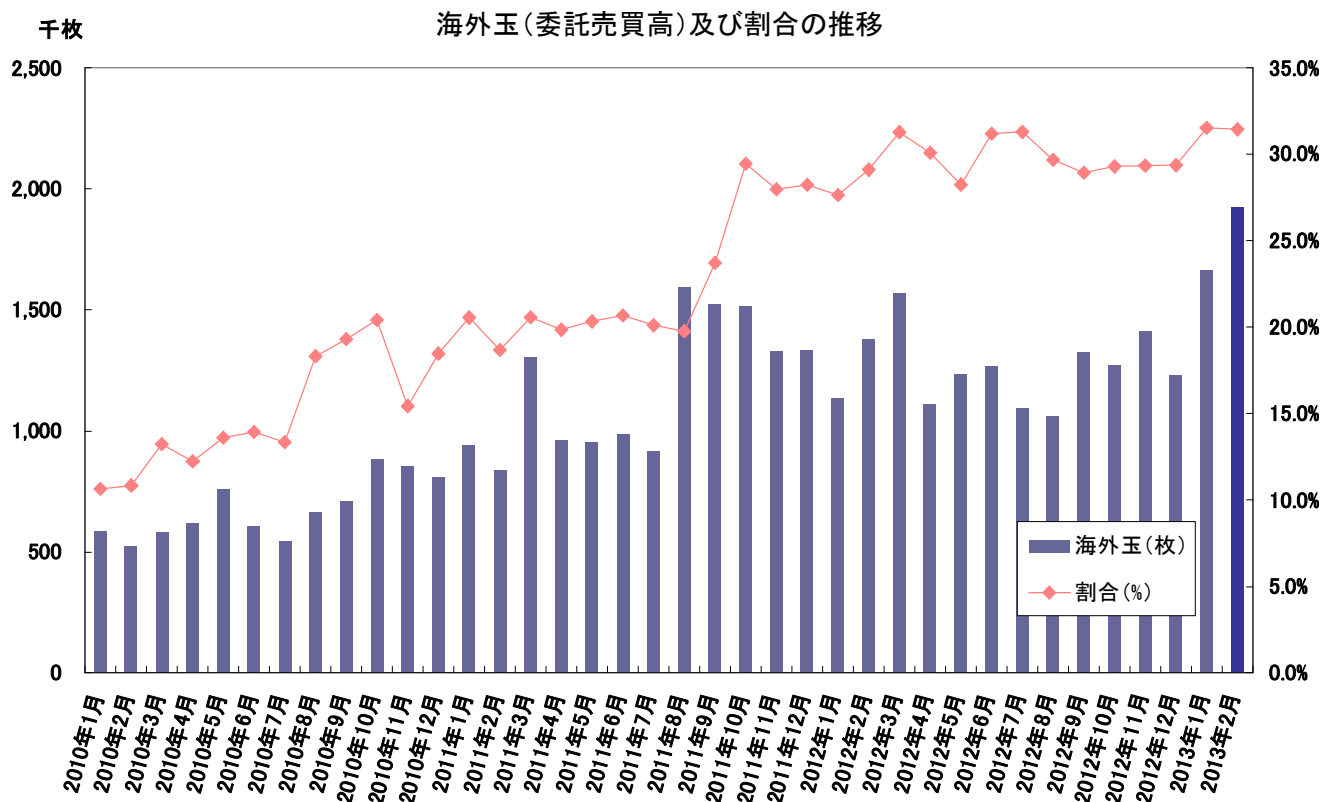
ポイント

日経・東商取商品指数の推移



2月の海外委託売買高が過去最高を記録

当社市場における2013年2月中の海外からの委託売買高が1,920,053枚となり、それまでの最高である2013年1月の1,662,426枚を超え、2ヶ月連続で月間の過去最高を記録しました。



中期経営計画のローリングについて

当社は、この度、2013年度から2015年度までの3年間を対象とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

この中期経営計画の見直しは、経営環境の変化にスピーディーに対応するため、3年間の中期経営計画を一年毎に更新を行うローリング方式を採用していることによるものです。

2012年度は、欧州の債務問題に対する懸念等によるリスクマネーの収縮や、世界経済の先行き不透明感が依然として払拭されず、投資家のリスク回避姿勢が続いたこと等から、取引高は108千枚/日(前年度比14%減)と厳しい状況で推移しております。

なお、足下では、円安・株高を背景として、日本マーケットは回復に向かいつつあり、当社市場の取引高も回復してきておりますが、この状況が長期トレンドとなるかは不透明であり、今後の動向は予断を許さない状況にあります。

このような状況下において、「中期経営計画(2013年度～2015年度)」では、事業戦略の柱として以下の6つを定め、これに基づく施策を着実に実行することで、市場仲介機能を強化し、多様な市場参加者の参入を実現することにより、取引高の増加を図ることを基本戦略としております。

- (1) 市場参加者に係る事業戦略
多様な市場参加者獲得のための営業活動の強化
- (2) 上場商品に係る事業戦略
上場商品ポートフォリオの充実
- (3) 取引基盤に係る事業戦略
利便性向上及び信頼性向上のためのインフラ整備
- (4) 経営基盤に係る事業戦略
商品市場の発展に向けた経営基盤の強化
- (5) クリアリングに係る事業戦略
クリアリング機能の整備・強化
- (6) イメージ向上に係る事業戦略
商品先物取引に対するイメージの向上

また、コスト構造の抜本的な見直しにより、より一層の損益分岐点(取引高)の引き下げを図って参ります。

※ 中期経営計画の詳細は、当社ホームページ
(<http://www.tocom.or.jp/jp/profile/ir/senryaku.html>) をご参照下さい。

日経・東商取商品指数の配分比率の見直しについて

当社は、日経・東商取商品指数算出要領に基づき配分比率の定期見直しを行い、2013年6月3日以降の日経・東商取商品指数の配分比率を次のとおり変更いたします。

なお、軽油、中京ガソリン及び中京灯油については、取引状況等を勘案し、昨年度に引き続き今年度も構成銘柄への追加を見送ることといたしました。

また、とうもろこし、一般大豆、小豆及び粗糖については、上場後まだ日が浅いことから、暫くの間、取引状況等を見つつ、今秋を目処に構成銘柄への追加等、その取り扱いを検討していきます。

<2013年度(2013年6月～2014年5月)の構成銘柄及び配分比率>

1. 日経・東商取商品指数及び日経・東商取期近限月商品指数

	金	銀	白金	パラジウム	ガソリン	灯油	原油	ゴム	総計
新配分比率	31.62%	0.72%	6.00%	0.42%	18.58%	8.14%	32.02%	2.50%	100.00%
現行	27.79%	1.08%	6.96%	0.63%	18.94%	8.34%	32.35%	3.91%	100.00%
差	3.83%	-0.36%	-0.96%	-0.21%	-0.36%	-0.20%	-0.33%	-1.41%	

2. 日経・東商取貴金属指数

	金	銀	白金	パラジウム	総計
新配分比率	47.30%	15.27%	27.77%	9.66%	100.00%
現行	44.19%	14.94%	30.61%	10.26%	100.00%
差	3.11%	0.33%	-2.84%	-0.60%	

3. 日経・東商取石油指数

	ガソリン	灯油	原油	総計
新配分比率	34.74%	18.89%	46.37%	100.00%
現行	33.40%	18.25%	48.35%	100.00%
差	1.34%	0.64%	-1.98%	

4. 日経・東商取金指数、日経・東商取銀指数、日経・東商取白金指数、日経・東商取パラジウム指数、日経・東商取アルミニウム指数※、日経・東商取ガソリン指数、日経・東商取灯油指数、日経・東商取原油指数及び日経・東商取ゴム指数

各指数の構成銘柄 100%

※ 日経・東商取アルミニウム指数は、現在算出休止中です。

【報道関係の方からのお問合せ先】

株式会社東京商品取引所 広報部広報課 荒木、佐藤

TEL : 03-3661-7917 FAX : 03-3661-6423 e-mail: p.relations@tocom.or.jp

2013年3月 東京商品取引所 取引高

	月間合計取引高 1		1日平均取引高 1			1日平均取引高(比率)	
	2013年3月	2013年2月	2013年3月	2013年2月	2012年3月	前月比	前年同月比
金	957,936	1,339,193	47,897	70,484	55,069	67.95%	86.98%
金ミニ	190,751	248,266	9,538	13,067	15,570	72.99%	61.26%
銀	6,151	9,606	308	506	549	60.87%	56.11%
白金	361,512	533,129	18,076	28,059	15,732	64.42%	114.90%
白金ミニ	33,397	46,209	1,670	2,432	2,070	68.67%	80.66%
パラジウム	9,405	11,061	470	582	283	80.76%	165.80%
原油	111,334	182,880	5,567	9,625	6,369	57.84%	87.41%
ガソリン	227,071	279,416	11,354	14,706	11,345	77.21%	100.08%
灯油	92,483	138,105	4,624	7,269	3,376	63.61%	136.95%
軽油	579	575	29	30	36	96.67%	79.92%
中京ガソリン	3,418	4,598	171	242	388	70.66%	44.09%
中京灯油	896	1,759	45	93	166	48.39%	27.06%
ゴム	213,499	201,788	10,675	10,620	8,284	100.52%	128.86%
とうもろこし 2	24,690	27,629	1,235	2,125	-	-	-
大豆 2	18,456	26,824	923	2,063	-	-	-
小豆 2	1,662	2,077	83	160	-	-	-
粗糖 2	224	252	11	19	-	-	-
金打シヨウ	0	0	0	0	0	-	-
合計	2,253,464	3,053,367	112,673	160,704	119,239	70.11%	94.49%

1 最終決済分を含む

2 農産物・砂糖市場は2013年2月12日取引開始

商品別取引高比率

